

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2007年6月11日~6月15日)

発表日: 2007年6月8日(金)

~ 2次QEは小幅上方修正がコンセンサス~

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

<6月11日~6月15日の主なイベント、指標予定>

	指標名	当社予測	予測値	予測レンジ	前回結果
6月11日 (月)	8:50 1~3月期 GDP2次速報				
	実質 GDP 成長率 (前期比)	+0.8%	+0.8%	+0.6~+0.9%	+0.6%
	(同年率)	+3.1%	+3.2%	+2.3~+3.8%	+2.4%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	+0.5%	—	—	+0.3%
6月12日 (火)	8:50 5月企業物価指数 (前月比)	+0.5%	+0.5%	+0.3~+0.8%	+0.8%
	(前年比)	+2.1%	+2.0%	+1.6~+2.3%	+2.0%
6月13日 (水)	14:00 5月消費動向調査				
	消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	47.4
	8:50 4月国際収支 経常収支(前年比)	+29.6%	—	—	
	(原数値)	17,115 億円	17,900 億円	12,100~22,000 億円	33,172 億円
	13:30 4月鉱工業生産指数・確報				
	鉱工業生産指数(前月比)	—	—	—	▲0.1%
	(前年比)	—	—	—	+2.3%
	稼働率指数 (前月比)	—	—	—	+0.0%
	生産能力指数 (前年比)	—	—	—	+2.3%
	13:30 4月商業販売統計・確報				
小売業販売額(前年比)	—	—	—	▲0.6%	
6月14日 (木)	8:50 5月製造業部門別投入・産出物価指数				
	交易条件 (前月差)	—	—	—	▲0.8%pt
	(前年差)	—	—	—	▲2.4%pt
	金融政策決定会合(~15日)				
6月15日 (金)	8:50 4月第3次産業活動指数 (前月比)	+2.1%	+1.5%	+0.4~+2.4%	▲2.2%
	(前年比)	+1.4%	—	—	+0.7%
	8:50 1~3月期資金循環	—	—	—	
	10:30 4月毎月勤労統計・確報				
	名目賃金 (前年比)	—	—	—	▲0.7%
	14:00 4月景気動向指数改訂値 DI先行指数	—	—	—	20.0%
	DI一致指数	—	—	—	66.7%
	15:00 6月金融経済月報				
15:30 日銀総裁定例記者会見					
未定	6月月例経済報告				

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

11日に2007年1-3月期GDP(2次速報)が発表される。前期比年率+3.2%と、1次速報の同+2.4%から上方修正されるとの見方がコンセンサス(第一生命経済研究所は前期比年率+3.1%を予想)。法人企業統計が強かったことを受けて設備投資が上方修正されるとの予想が多い。前期比年率で+3%を超える場合には、さすがに景気踊り場とは言いにくくなるのではないだろうか。

ただ、1-3月期は既に昔の話ということもあり、焦点は既に4-6月期の見通しに移っている。4月については、資本財出荷の反発やサービスを中心に堅調だった家計調査など強めの指標もある一方で、輸出の減少や賃金の低迷など弱い指標も散見されており、足元の経済指標は強弱混在だ。今月末に公表される5月分の主要統計で、4-6月についてはある程度の方向性が見えてくるだろう。なお、GDP2次速報におけるその

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

他の需要項目では、輸入の下方修正を理由に外需寄与度は上方修正、公共投資は下方修正が予想されている。また、在庫投資に関しては若干の下方修正を予想する機関が多い。

5月企業物価指数（12日公表）は前月比+0.5%と高めの伸びが予想されている。CPI財価格の動向を予想する意味で、最終財の動向、特に消費財価格の上昇がみられるかどうかが目。

（主任エコノミスト：新家義貴）

【重要指標の当社予測とコメント】

1-3月期GDP 2次速報・実質GDP成長率 当社予想：前期比年率 +3.1% 中央値：同 +3.2%

前期比+0.8%（前期比年率+3.1%）と、1次速報（前期比+0.6%、前期比年率+2.4%）から小幅上方修正されると予想する。設備投資が前期比+0.4%と、1次速報段階の同▲0.9%から上方修正されるとみられることが最大の要因である。3月分の生産動態統計などを反映して供給側推計値は下方修正要因になるとみられるが、法人企業統計の設備投資が強い結果になったことが押し上げ要因になる。また、法人企業景気予測調査の金融機関設備投資が好調だったこともプラスに寄与した模様だ。民間在庫投資についてははっきりしないが、対GDPの前期比寄与度が▲0.2%ポイントと、1次速報の同▲0.1%ポイントから若干下方修正されると予想する。その他の需要項目では、3月分の国際収支統計を反映して輸入が前期比+0.3%に下方修正（1次速報：同+0.9%）される結果、外需寄与度が+0.5%ポイントに上方修正（1次速報：同+0.4%ポイント）されることも、GDPを押し上げる。なお、3月分の建設総合統計が反映されることにより、公共投資は前期比▲1.2%と下方修正（1次速報：同▲0.1%）されると予想する。

4月国際収支・経常収支（原数値） 当社予想：1兆7,115億円 中央値：1兆7,900億円

4月の経常黒字額は前年比+29.6%、原数値で1兆7115億円を予測する。4月は米国向け輸出が低調だったがアジア、EU向けなど他の地域向けは堅調であり、輸出は高めの伸びとなった。一方、輸入は原油価格の下落の影響で前年対比では小幅増にとどまったことから貿易収支の黒字幅は大幅に拡大したとみられる。また、所得黒字額も前年を上回ったとみられること等を踏まえれば、4月も経常黒字額は前月に引き続き大幅増となる見込みである。（副主任エコノミスト：長谷山則昭）

4月第3次産業活動指数（前月比） 当社予想：前月比 +2.1% 中央値：同 +1.4%

4月の第3次産業活動指数は前月比+2.1%を予想する。卸・小売業は不安定な天候の影響を受けたが、3月に大きく低下した反動で上昇に転じる見込みである。また、前月テクニカル要因で大幅なマイナスとなった情報通信産業も、プラスになると考える。

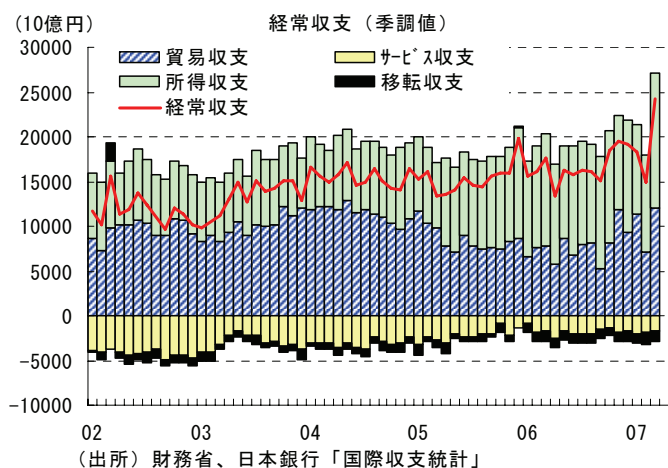
3月の落ち込みから4月は反発すると考えられるが、当社の予想通りの伸び率となった場合は、1-3月期平均との対比では+1.0%となる。第3次産業活動指数は緩やかな上昇傾向が続いていると判断する。（エコノミスト：中本泰輔）

図表 1

(前期比、%)

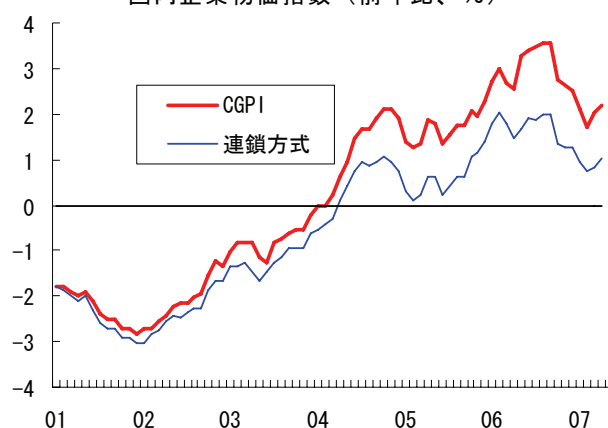
	2007年 1～3月期	2007年 1～3月期
	1次速報	2次速報予測
実質GDP	0.6	0.8
前期比年率	2.4	3.1
内需寄与度	0.2	0.3
民間最終消費支出	0.9	0.9
民間住宅	▲ 0.3	▲ 0.3
民間企業設備	▲ 0.9	0.4
民間在庫品増加(寄与度)	▲ 0.1	▲ 0.2
政府最終消費支出	▲ 0.1	▲ 0.1
公的固定資本形成	▲ 0.1	▲ 1.2
外需寄与度	0.4	0.5
財貨・サービスの輸出	3.3	3.4
財貨・サービスの輸入	0.9	0.3
名目GDP	0.3	0.5
前期比年率	1.2	2.0
GDPデフレーター (前年比)	▲ 0.2	▲ 0.2

図表 3

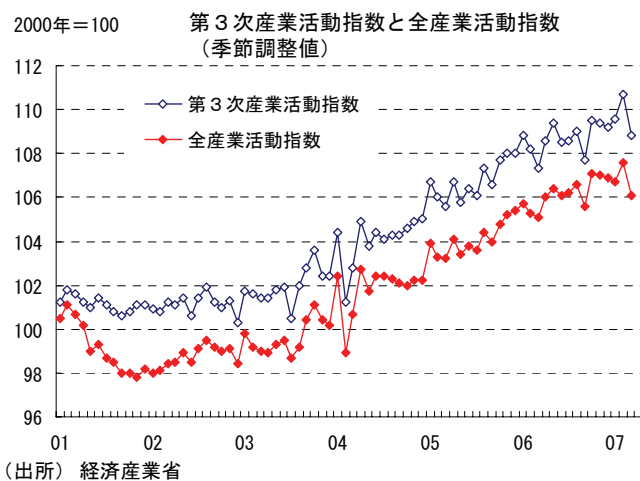


図表 2

国内企業物価指数 (前年比、%)



図表 4



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
28 4月CSPI(8:50) 福井日銀総裁講演	29 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債	30 4月鉱工業指数(8:50) 福井日銀総挨拶	31 4月住宅着工統計(14:00) 4月毎月勤労統計(10:30) 西村日銀審議委員挨拶 (米)1-3月期実質GDP(改定値) (米)5月シカゴPMI (米)4月建設支出 (米)4月求人広告指数 (欧)5月消費者物価(速) (インド)1-3月期実質GDP (フィリピン)1-3月期実質GDP	6/1 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) 4月家計消費状況調査(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)4月PCEデフレーター (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月ISM製造業指数 (米)5月シカゴ大センチ(確) (米)5月自動車販売 (米)5月雇用統計
4 1~3月期法人企業統計(8:50) 5月マネタリーベース(8:50) (米)4月製造業受注 (タイ)1-3月期実質GDP	5 10年利付国債 (米)5月ISM非製造業指数	6 4月景気動向指数(14:00) (米)1-3月期非農業部門労働生産性(確) (欧)ECB理事会	7 10年物価連動国債 (英)BOE金融政策委員会	8 4月機械受注(8:50) 5月マネーサプライ(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) 5月景気ウォッチャー(14:00) (米)4月貿易収支
11 1-3月期GDP2次速報(8:50)	12 5年利付国債 5月企業物価(8:50) 5月消費動向調査(14:00) (米)5月財政収支	13 4月国際収支(8:50) 4月商業販売統計・確(13:30) 4月鉱工業指数・確(13:30) (米)ベージュブック (米)輸入物価 (米)小売売上高 (米)企業在庫	14 5月投入・産出物価指数(8:50) 金融政策決定会合(～15日)	15 4月第3次産業活動指数(8:50) 1~3月期資金循環(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) 4月景気動向指数改訂(14:00) 6月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※6月月例経済報告 (米)5月消費者物価 (米)6月NY連銀製造業指数 (米)4月対米証券投資 (米)5月鉱工業生産 (米)6月シカゴ大消費者センチ(速)
18 4月建設総合統計(14:00) (米)6月NAHB住宅市場指数	19 6月ロイター短観(8:30) ※5月全国百貨店売上高 (米)5月住宅着工件数 (米)5月建設許可件数	20 4月全産業活動指数(8:50) 4~6月期法人企業景気予測調査(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(4月27日/5月16・17日分) 5月コンビニエンスストア統計(16:00) 武藤日銀副総裁挨拶	21 20年利付国債 ※5月貿易統計(8:50) 福井日銀総挨拶 (米)5月景気先行指標総合指数 (米)6月フィラ連銀指数	22 ※5月チェーンストア販売統計 (独)6月ifo景況感指数
25 (米)5月中古住宅販売件数	26 2年利付国債 5月CSPI(8:50) (米)5月新築住宅販売件数	27 5月商業販売統計(8:50) (米)5月耐久財受注 (欧)6月消費者物価(速)	28 5月鉱工業指数(8:50) (米)FOMC (米)1-3月期実質GDP(確) (米)5月求人広告件数	29 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)5月個人所得・消費 (米)6月シカゴPMI (米)5月建設支出 (米)6月シカゴ大消費者センチ(確) (米)6月ISM製造業指数

(※)印は日時が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7/2 6月日銀短観(8:50) 5月毎月勤労統計(10:30) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) (米)6月ISM製造業指数 (欧)6月製造業PMI	3 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 5月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月製造業受注 (米)6月自動車販売	4	5 5月景気動向指数(14:00) (米)6月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	6 (米)6月雇用統計
9 5月機械受注(8:50) 6月マネーサプライ(8:50) 6月貸出・資金吸収(8:50) ※6月景気ウォッチャー (米)5月消費者信用残高 ※(シンガポール)4-6月期実質GDP	10 5年利付国債	11 5月国際収支(8:50) 6月企業物価(8:50) 金融政策決定会合(～12日) 6月消費動向調査(14:00)	12 5月鉱工業指数・確(13:30) 5月商業販売統計・確(13:30) 7月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)5月貿易収支 (米)6月財政収支	13 6月投入・産出物価指数(8:50) (米)6月輸入物価 (米)6月小売売上高 (米)7月シカン大消費者センチ(速) (米)5月企業在庫
16 (米)6月NY連銀製造業指数	17 5月第3次産業活動指数(8:50) (米)5月対米証券投資 (米)6月鉱工業生産 (米)7月NAHB住宅指数 ※(中国)4-6月期実質GDP	18 5月毎月勤労統計・確(10:30) 5月建設総合統計(14:00) 5月景気動向指数改訂(14:00) 金融政策決定会合議事要旨(6月14・15日分) 30年利付国債 ※7月月例経済報告 (米)6月消費者物価 (米)6月住宅着工件数 (米)6月建設許可件数	19 7月ロイター短観(8:30) 5月全産業活動指数(8:50) ※6月全国百貨店売上高 (米)6月景気先行指数 (米)7月フィリ連銀指数 (米)FOMC議事録(6/28)	20 6月コンビニエンスストア統計(16:00) (英)4-6月期実質GDP
23 ※6月チェーンストア販売統計 ※(韓国)4-6月期実質GDP	24	25 ※6月貿易統計(8:50) ※7月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) (米)ページブック (米)6月中古住宅販売件数	26 6月CSPI(8:50) 20年利付国債 (米)6月耐久財受注 (米)6月新築住宅販売件数 (米)6月求人広告指数 (独)7月ifo景況感指数	27 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月商業販売統計(8:50) (米)4-6月期実質GDP(改定値) (米)7月シカン大消費者センチ(確)
30 6月鉱工業指数(8:50)	31 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月毎月勤労統計(10:30) 6月住宅着工統計(14:00) 2年利付国債 (米)6月個人所得・消費 (米)6月PCEデフレーター (米)4-6月期雇用コスト指数(速) (米)7月シカゴPMI (米)6月建設支出 (欧)7月消費者物価(速)	8/1 7月自動車販売(14:00) 7月軽自動車販売(14:00) 2007年路線値 (米)7月ISM製造業指数 (米)7月自動車販売 (米)6月中古住宅販売件数 (欧)7月製造業PMI	2 7月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月製造業受注 (英)BOE金融政策決定会合 (米)7月自動車販売	3 6月家計消費状況調査(14:00) (米)7月雇用統計 (米)7月ISM非製造業指数

(※) 印は日時が未定のもの